

2009年3月期 決算概要

2009年5月14日

株式会社 プロト コーポレーション

JASDAQ 4298

連結主要データ

発行済株式総数(単位:百万株)	10.4
時価総額(単位:十億円)	20.8
1株あたり配当(単位:円・09/3期実績)	70.0
1株あたり当期純利益(単位:円・09/3期実績)	304.6
1株あたり純資産(単位:円・09/3期実績)	1,413.5
ROE(単位:%・09/3期実績・当期純利益ベース)	23.5
ROA(単位:%・09/3期実績・経常利益ベース)	26.6
自己資本比率(単位:%・09/3期実績)	68.4
潜在株式数(単位:百万株)	-
外国人持株比率(単位:%・09/3期末)	20.2
1日あたり出来高(単位:千株・年平均)	5.8

(2009年3月31日現在)

株価推移



連結損益計算書 (1)



連結損益の状況

(単位:百万円)

	2008年3月期		2009年3月期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
売上高	22,893	100.0%	24,400	100.0%	① 23,657	100.0%	763	103.3%	△ 742	97.0%
売上原価	9,973	43.6%	9,823	40.3%	② 9,064	38.3%	△ 908	90.9%	△ 758	92.3%
売上総利益	12,920	56.4%	14,576	59.7%	14,592	61.7%	1,671	112.9%	16	100.1%
販売費及び一般管理費	9,149	40.0%	9,571	39.2%	③ 9,208	38.9%	58	100.6%	△ 363	96.2%
営業利益	3,771	16.5%	5,005	20.5%	④ 5,384	22.8%	1,613	142.8%	379	107.6%
経常利益	3,837	16.8%	5,020	20.6%	5,400	22.8%	1,562	140.7%	380	107.6%
当期純利益	1,838	8.0%	3,025	12.4%	⑤ 3,187	13.5%	1,349	173.4%	162	105.4%

※ 売上原価は、返品調整引当金戻入額及び繰入額を加味した数値であります。

販売費及び一般管理費の状況

(単位:百万円)

	2008年3月期		2009年3月期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
販売費及び一般管理費	9,149	40.0%	9,571	39.2%	9,208	38.9%	58	100.6%	△ 363	96.2%
人件費	4,291	18.7%	4,411	18.1%	4,469	18.9%	178	104.2%	58	101.3%
広告宣伝費関連	2,070	9.0%	2,431	10.0%	2,043	8.6%	△ 26	98.7%	△ 388	84.0%
その他経費	2,788	12.2%	2,728	11.2%	2,695	11.4%	△ 93	96.7%	△ 33	98.8%
社員数	685	-	751	-	716	-	31	104.5%	△ 35	95.3%

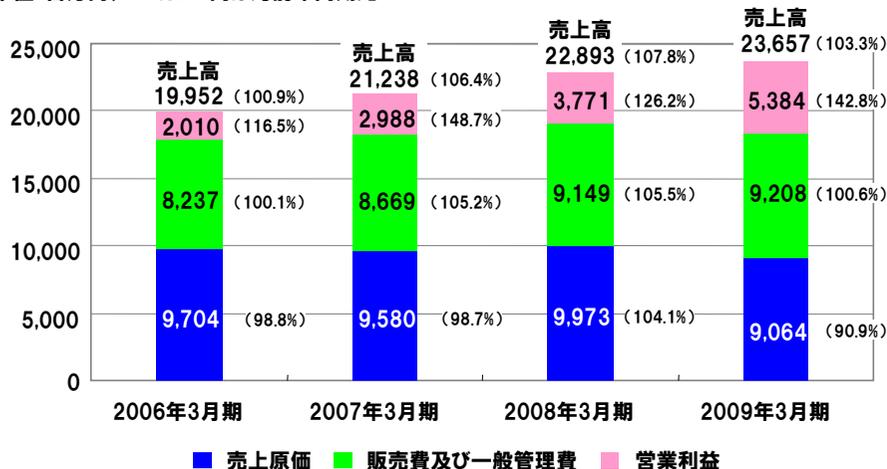
※ 広告宣伝費関連には、広告宣伝費ならびに販売促進費の合計値を記載しております。

※ 社員数は、3月末時点の人員数であります。

2009年3月期 業績概況

業績推移

(単位:百万円) ※カッコ内は対前年同期比



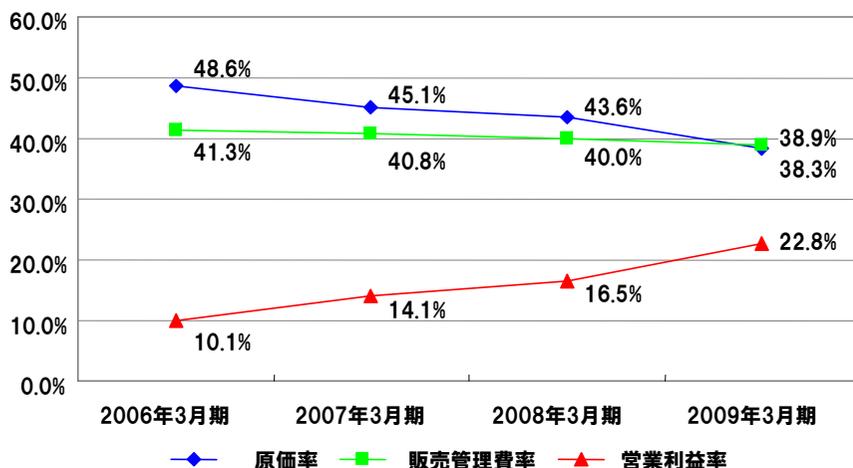
Point ① 売上高

前年同期対比では、その他事業を除く全てのセグメントにおいて増収となり全体で763百万円の増収(前年同期対比103.3%)となりました。
 主な増収要因は、自動車関連情報の情報登録・掲載料(同102.6%)及び生活関連情報(同152.5%)が増収となったことによるものであります。
 また、計画対比は97.0%と若干計画を下回る結果となりました。

Point ② 売上原価

データ入力業務等の内製化(㈱プロトデータセンターへの業務移管)及びグループ事業の再構築(子会社の吸収合併)により、外注コストが低減した結果、前年同期対比90.9%(原価率:5.3ポイント低減)となりました。
 また、主に生活関連情報の売上高が計画を下回ったことから変動費が低減し、計画対比は92.3%となりました。

各指標の推移



Point ③ 販売費及び一般管理費

社員数の増加に伴い人件費が増加したものの、プロモーション活動の効率化による販売促進費の低減、㈱リペアテックに係るのれん償却の減少等により前年同期対比は100.6%(販売管理費率:1.1ポイント低減)となりました。
 また、効率的な広告宣伝の実施等により、計画対比は96.2%となりました。

Point ④ 営業利益

増収ならびに売上原価の低減により、前年同期対比は142.8%(営業利益率:6.3ポイント上昇)となり、計画対比は107.6%となりました。

Point ⑤ 当期純利益

主に税効果適用後の法人税等の負担率が低下したことにより、前年同期対比は173.4%となり、計画対比は105.4%となりました。

セグメント情報 (1)



売上高

(単位:百万円)

	2008年3月期		2009年3月期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	構成比	計画 (B)	構成比	実績 (C)	構成比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
自動車関連情報	21,546	94.1%	22,035	90.3%	21,889	92.5%	343	101.6%	△ 146	99.3%
情報登録・掲載料	18,400	80.4%	18,951	77.7%	18,872	79.8%	471	102.6%	△ 78	99.6%
情報提供料	3,145	13.7%	3,084	12.6%	3,017	12.8%	△ 128	95.9%	△ 67	97.8%
生活関連情報	882	3.9%	1,863	7.6%	1,345	5.7%	463	152.5%	△ 518	72.2%
不動産	174	0.8%	196	0.8%	194	0.8%	20	111.5%	△ 1	99.0%
その他	291	1.3%	303	1.2%	227	1.0%	△ 63	78.2%	△ 76	74.9%
合計	22,893	100.0%	24,400	100.0%	23,657	100.0%	763	103.3%	△ 742	97.0%

※ 情報登録・掲載料 情報誌・ネットメディアへの広告掲載料等

※ 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供料等

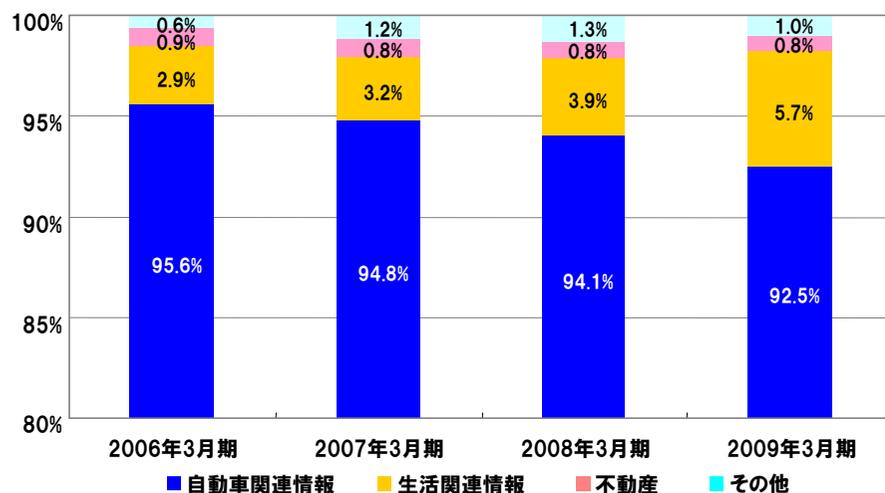
営業利益

(単位:百万円)

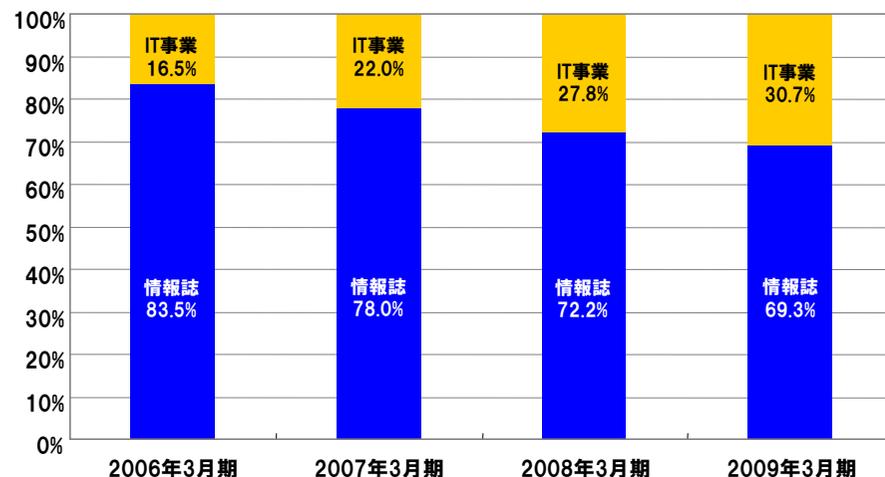
	2008年3月期		2009年3月期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	利益率	計画 (B)	利益率	実績 (C)	利益率	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
自動車関連情報	5,573	25.9%	6,886	31.3%	7,034	32.1%	1,460	126.2%	147	102.1%
生活関連情報	△ 24	-	135	7.3%	62	4.6%	86	-	△ 73	45.8%
不動産	71	40.9%	52	26.4%	70	36.2%	△ 0	98.7%	18	135.6%
その他	△ 123	-	△ 87	-	△ 80	-	43	-	7	-
管理部門	△ 1,725	-	△ 1,981	-	△ 1,701	-	23	-	279	-
合計	3,771	16.5%	5,005	20.5%	5,384	22.8%	1,613	142.8%	379	107.6%

■ セグメント別 業績概況

セグメント別 売上構成比の推移



自動車関連情報 売上構成比の推移



自動車関連情報

情報誌事業は若干減収(前年同期対比97.5%)となるものの、インターネット関連商品の拡販により、IT事業が堅調に推移(同112.2%)したことから、売上高は343百万円の増収(同101.6%)となりました。

また、自動車関連情報セグメントにおけるIT事業の売上構成比は2.9ポイント上昇し、30.7%となりました。

営業利益については、データ入力業務等の内製化及びグループ事業の再構築等により1,460百万円の増益(同126.2%)となり、

計画対比では147百万円の上ブレ(計画対比102.1%)となりました。

生活関連情報

主要サイトである「Vee SCHOOL.com」、「オアシスナビ」、「介護求人ナビ」、それぞれにおいて、取引社数及び平均取引単価が堅調に推移したことに加え、プロトムック「介護のことがよくわかる本 Vol.1 2009春夏」の刊行、モバイル広告代理事業の展開等により、売上高は463百万円の増収(前年同期対比152.5%)となりました。また、営業利益は62百万円(前年同期は24百万円の損失)となり、上場来初の黒字化を達成いたしました。

ただし、モバイル広告代理事業が計画通り進捗しなかったことから、売上高・営業利益ともに計画を下回る結果となりました。

その他

(株)マーズフラッグのサイト内検索「MARS FINDER」の拡販が進んだものの、グループ事業の再構築及び韓国子会社(株)ジェイベックスパートナーズ(2008年12月売却)が運営する「BOMUL.com」の低迷により、売上高は63百万円の減収(前年同期対比78.2%)となりました。

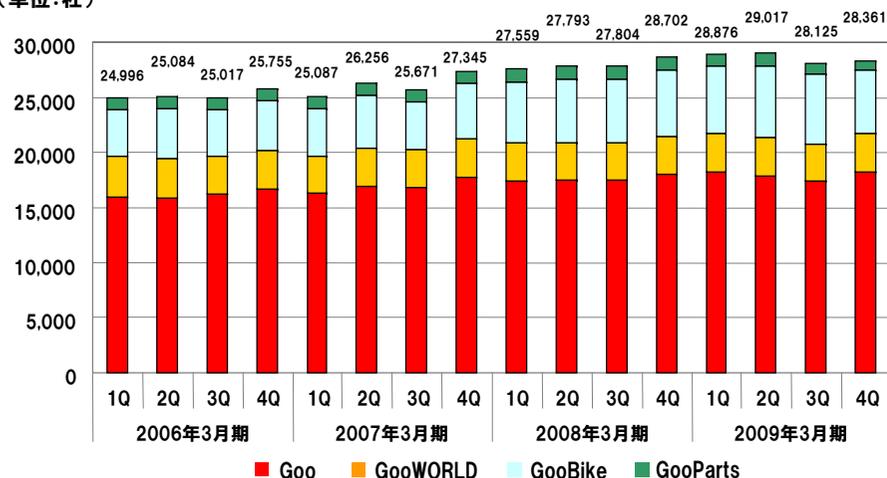
また、営業損失は80百万円(前年同期は123百万円の損失)となりました。

※ IT事業: Goo-net等への情報登録料、データ・コンテンツ提供料、パーツEC売上、Goo-net買取オークション(グーオーク)落札手数料等

Gooシリーズの概況

Gooシリーズ 四半期累計取引社数の推移

(単位:社)



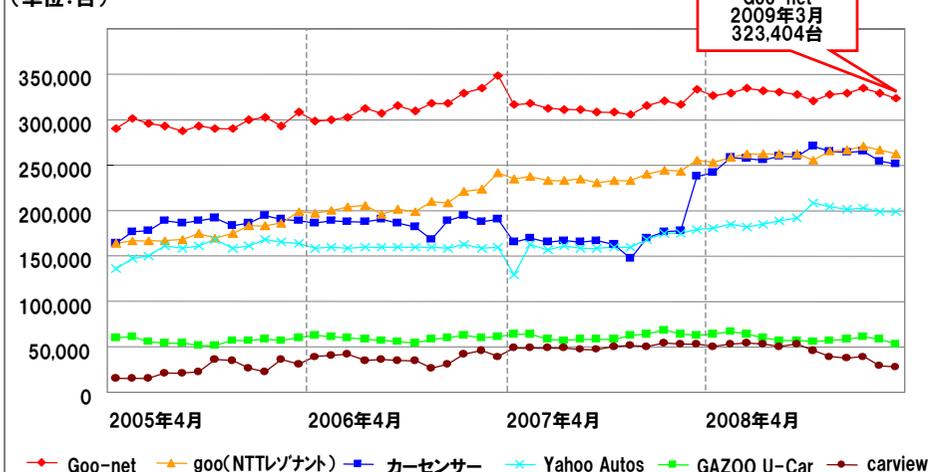
Gooシリーズの年間累計取引社数は、前年同期対比102.3%となり、平均取引単価は、前年並みの水準(前年同期対比100.1%)となりました。

【参考】

- ・バイク情報誌GooBike中国版の創刊(2007年2月)
- ・バイク情報誌GooBike東北版の創刊(2007年3月)
- ・バイク情報誌GooBike九州版の創刊(2008年3月)
- ・クルマ情報誌Goo中国版の月2回刊化(2008年9月)
- ・クルマパーツ情報誌GooPartsの月2回刊化(2008年12月)
- ・バイク情報誌GooBike首都圏版・東海版・関西版の月2回刊化(2009年3月)

主要サイトの中古車掲載台数の推移

(単位:台)



「Goo-net」の中古車掲載台数は常時30万台以上となっており、依然として競合他社サイトをリードしております。(当社調べ)

※「カーセンサー」の中古車掲載台数は、2008年3月より「カーセンサーnet」と「D-Ucar.net」の合計となっております。

参考：四半期連結損益計算書



(単位:百万円)

	2007年3月期					2008年3月期					2009年3月期				
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計
売上高	5,049	5,227	5,527	5,434	21,238	5,644	5,700	5,899	5,649	22,893	5,797	5,971	5,908	5,980	23,657
売上原価	2,193	2,427	2,440	2,519	9,580	2,447	2,598	2,570	2,356	9,973	2,192	2,265	2,272	2,333	9,064
売上総利益	2,855	2,800	3,086	2,915	11,658	3,197	3,101	3,329	3,292	12,920	3,604	3,705	3,635	3,647	14,592
販売費及び一般管理費	1,959	2,061	2,066	2,582	8,669	2,157	2,236	2,190	2,564	9,149	2,103	2,154	2,217	2,732	9,208
営業利益	896	738	1,020	332	2,988	1,039	864	1,138	728	3,771	1,501	1,550	1,417	914	5,384
経常利益	938	742	1,023	431	3,136	1,060	869	1,174	734	3,837	1,516	1,544	1,433	905	5,400
四半期(当期)純利益	547	418	545	254	1,766	572	366	693	205	1,838	906	929	875	476	3,187

※ 売上原価は、返品調整引当金戻入額及び繰入額を加味した数値であります。

	2007年3月期					2008年3月期					2009年3月期				
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計
売上高	5,049	5,227	5,527	5,434	21,238	5,644	5,700	5,899	5,649	22,893	5,797	5,971	5,908	5,980	23,657
自動車関連情報	4,821	4,985	5,220	5,110	20,138	5,326	5,366	5,553	5,298	21,546	5,455	5,574	5,422	5,437	21,889
情報登録・掲載料	4,110	4,324	4,514	4,409	17,359	4,508	4,600	4,740	4,550	18,400	4,686	4,875	4,633	4,676	18,872
情報提供料	711	661	705	700	2,778	817	766	813	747	3,145	769	698	788	761	3,017
生活関連情報	133	136	196	209	675	203	222	221	235	882	247	296	364	436	1,345
不動産	39	40	40	40	160	44	43	43	42	174	43	50	50	49	194
その他	54	64	69	74	263	70	68	80	72	291	49	49	70	57	227
営業利益	896	738	1,020	332	2,988	1,039	864	1,138	728	3,771	1,501	1,550	1,417	914	5,384
自動車関連情報	1,415	1,288	1,559	772	5,036	1,482	1,343	1,599	1,148	5,573	1,909	1,950	1,829	1,344	7,034
生活関連情報	△ 28	△ 7	△ 33	△ 19	△ 89	△ 16	△ 3	△ 5	0	△ 24	4	24	16	16	62
不動産	14	15	15	13	58	20	17	18	15	71	13	12	27	17	70
その他	△ 119	△ 75	△ 69	△ 64	△ 329	△ 49	△ 45	△ 34	5	△ 123	△ 20	△ 39	△ 19	△ 1	△ 80
管理部門	△ 385	△ 481	△ 451	△ 368	△ 1,687	△ 397	△ 446	△ 439	△ 441	△ 1,725	△ 404	△ 397	△ 436	△ 462	△ 1,701

連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2008年3月期(期末)		2009年3月期(期末)		増減 (B) - (A)	
	(A)	構成比	(B)	構成比		
流動資産	12,295	64.6%	12,038	55.7%	①	△ 257
固定資産	6,728	35.4%	9,570	44.3%	②	2,842
流動負債	5,995	31.5%	6,167	28.5%	③	171
固定負債	593	3.1%	576	2.7%		△ 17
純資産	12,434	65.4%	14,865	68.8%	④	2,430
総資産	19,023	-	21,608	-		2,585

Point ① 流動資産の減少(2008年3月期 期末対比 257百万円減)

主な減少要因は、グループ事業の再構築(子会社の吸収合併)により、受取手形及び売掛金が減少したため。

Point ② 固定資産の増加(2008年3月期 期末対比 2,842百万円増)

主な増加要因は、事業用途の土地・建物等を取得したことにより、有形固定資産が増加したため。

Point ③ 流動負債の増加(2008年3月期 期末対比 171百万円増)

主な増加要因は、未払金、未払費用、未払法人税等、前受金がそれぞれ増加したため。

Point ④ 純資産の増加(2008年3月期 期末対比 2,430百万円増)

主な増加要因は、利益剰余金が増加したため。

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2008年3月期	2009年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,321	① 3,750	1,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 474	② △ 2,949	△ 2,474
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 437	③ △ 624	△ 186
現金及び現金同等物の期末残高	8,985	9,107	121

※ 詳細は決算短信 23～24頁を参照ください。

設備投資額	193	3,330	3,136
減価償却費	160	160	△0

※ 有形固定資産に係る設備投資額ならびに減価償却費を記載しております。

Point ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

決済方法の変更等により仕入債務が減少したものの、税金等調整前当期純利益が前連結会計年度より大幅に増加したこと、売上債権の減少や未払費用が増加したことなどにより、3,750百万円(前年同期対比161.6%)となりました。

Point ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に事業用途の土地・建物の取得ならびに(株)プロトデータセンターの本社社屋の建設等、有形固定資産の取得による支出が2,852百万円発生したことなどにより、2,949百万円の支出となりました。

Point ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払による支出が627百万円あったことなどにより、624百万円の支出となりました。

※ 本資料に記載の計画値は、2008年10月29日付公表の数値となります。

※ 本資料に記載の金額は、全て百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ お問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション

名古屋市中区葵一丁目23番14号

TEL 052-934-1519 FAX 052-934-1750

<http://www.proto-g.co.jp/>

4298ir@proto-g.co.jp

IR担当／経営企画室 鈴木